



白 銀

200名の会員、100名のメイト読者を目指そう！

新日本スポーツ連盟神奈川県スキー協議会
横浜市神奈川区神奈川2-14-16トーリックビル3F
Tel045-534-5557 Fax045-534-5554
発行責任者: 杉田 厚
編 集: 古屋仁・吉越貴幸・北村理・伊藤喜子
Email: mail@kanagawaski.org
URL: <https://kanagawaski.org>



悪天候について笑顔の絶えない春祭典に

春スキー祭典 実行委員長 杉田 厚

戻ってきた参加者、充実の体制

3月24日夜～27日、志賀高原中央グレンデエリアを会場に第48回春スキー祭典が開催されました。

コロナ禍から3年、スキー祭典の参加者の少なさもあり参加者がそろうかどうか心配でしたが、一般参加者30名、指導員9名合わせて39名となり、満杯とはいきませんでした。がまずまずの参加者数でした。

バスは、中型車を予約していましたが、定員24人に対し22人が乗車と嬉しい状況でした。

参加者の中には常連さんのほかに「スポーツセンターのチラシを見て」「家のポストにチラシが入っていた」など新たに5人の参加がありました。

また気になっていた参加費については「教室がついているから高いとは思わない」と安心する感想

を聞けました。

やはり祭典と銘打って、スキー協が行う一大イベントなので思い切って外に知らせる勧誘する取り組みが大事だと実感しています。



さて、今年の春祭典は天候に恵まれませんでした。

初日、2日目と雨。初日は午後の雪上運動会を順延にせざるを得ませんでした。

2日目は全教室ともゲレンデツアーを敢行しましたが、サンバレーまでたどり着いたのは2教室のみ。雨に濡れたウェアと体に暖をとりながらゆったりしたツアーとなりました。

また、リフト、ゴンドラは風雨のため運行休止となり、一ノ瀬まで戻るのが大変でした。

順延となった雪上運動会はホテル内で行われ、「おせんべい焼けたかな？」という大人をおせんべいに見立てて、チームで「大人おせんべい」をひっくり返すという競技ですが、子どもチームが団結力と作戦で見事優勝！賞品のおやつを嬉しそうに選んでいました。

最終日は昨日までの荒天が嘘のように晴れ渡り、さらには昨夜にうっすらと積もった新雪が、ゲレンデを眩く輝かせます。気持ちよくシュプールを描いていきました。

悪天候のなか、けが人も出さずに思い出に残る祭典となりました。

祭典2日目にリフトから参加者(子ども)が転落するという事故がありました。指導員と子どもの2人で乗った時のことでした。

・子どもさんがいすにお尻を乗せていないのにリフト係が停車させなかったこと

・指導員も子供を落とさないように必死だったけれどリフト係に停止するよう声を掛けることができなかったこと



が事故の原因と推察できます。幸いにしてけがはありませんでした。

神奈川スキー協として一ノ瀬中央ゲレンデにリフト係の注意喚起と指導の徹底を要請しました。

【参加者の感想—白銀から】

- 初めて参加しましたが、とっても楽しくそして上達できました。ありがとうございました。
- 初参加(1人参加)、5年ぶりのスキーといろいろ不安でしたが楽しく滑れています。

- 昨年の神奈川スキー祭典 年末 コースには貸しスキーに貸しブーツ。
人生最後のスキーと覚悟を決めての参加でした。ところが今回は新しい板に靴。初めてのヘルメット、グローブとピカピカの1年生としての参加。
なんと恐れ多いことか。「ついているのか己は」鼓舞奮闘し迷惑をかけないようについでいきたいと
思います。よろしく…です。
- 寺子屋まで行けてよかったです。コーチが優しくて安心しました。
- スキーをやるのが2回目で、最初はなれなかったけど、滑っているうちにどんどん滑れるようになって、すごく面白くて楽しかったです。
明日もどんどん滑りたくなってきました。
今日は雨が降ってしまったので悲しかったです。とにかく楽しく滑れました。
- 雨、風、2日目の天気はとっても残念。でも久々にサンバレーまで遠征していけました。
素晴らしい景色は次回のお楽しみ。
- あいにくの天気でしたがお昼過ぎからみっちり練習できました。
少しレベルアップした気がします。息子には完全に抜かれています。
- 曲がる練習をしてできるようになって楽しかったし、スキーがけっこうできるようになるとすごく楽しくなりました。
- 30年ぶりのスノボでしたがターンもできて良かった。
何度も転んでなかなか起き上がれず、歳を感じました。
- 利き足って楽だな。というのもカーブの時右足を使うカーブは問題なく曲がるのですが、左足だと踏ん張りが足らず、筋力不足が否めません。
- 志賀高原の雪を楽しめました。食事も美味しく2,000円の補助金もあってということなしの旅でした。
水もきれいで美味しく温泉も素晴らしい。スキーはこれからも少しずつ上達できたらと思っています。優しい声掛けをしていただいて先生、ありがとうございました。





DSSC 50周年レセプション

DSSC 馬場 英明

ディープスノースキークラブは、昨年の11月20日に、念願の50周年レセプションを開催しました。

本来なら2021年が50周年の年だったのですが、コロナの影響でレセプションを開くことを延期していたのです。

一昨年の総会の時から結成されていた実行委員会をようやく始動させ、日取りや開催場所の選定や招待状の発送をはじめ、当日のプログラムや記念誌の作成といった活動を進めていきました。

50年の歩みを年表にまとめる中でその重みを実感したり、招待状の返信に添えられたメッセージを読み感謝の気持ちを深めたりと、準備を通してクラブの大切さを再確認することができました。

そして、いよいよ当日。会場となった貸し切られた厚木市内の中華料理店には、過去にクラブに所属されていた方々や他のクラブの方々など21名が集まり、賑やかにレセプションがスタートしました。

実行委員長のあいさつから始まり、県スキー協会長の杉田様のあいさつ、そして乾杯の御発声は県スキー協事務局長の吉越様と、瞬く間に雰囲気盛り上がり上がっていきました。

賑やかな歓談の合間に、参加者の皆さまからの楽しくも温かなスピーチもいただきました。

また、思い出のアルバムや懐かしい記事が載ったクラブの機関誌「すべりほいど」も回覧され、そこかしこで話が盛り上がり上がっていました。後半も深まった頃にはビンゴゲームが始まり、さらに賑やかになりました。

50年という節目に、このように盛大にレセプションを開催することができたことを通して、クラブの大切さを再確認できたと共に、多くの方々のスキーに対する熱い思いが繋がれてクラブが育ってきたことに深い感慨を覚えました。

さあ新たなページが開かれました。

スキーを楽しむ中で少しでも技術を上達させ、その時間を共にする仲間を広げていきたいです。「半世紀のシュプール、そしてこれからも」

尾瀬岩倉スキーまつり

悠遊S C 北村 理

いつもの東神奈川に集合。今回は旅行割が適用され宿泊20%引き、それに4,000円のクーポンが付いたお得なスキー行。

ただ、群馬県は厳しい。バスの中でワクチン3回以上の接種証明書かPCRの陰性証明書を持参しているかチェックして宿と連絡を取り合う。申請がSTAYNAVIアプリから事前申請が必要のためのようだ。またクーポンが紙ではなく電子クーポン。専用のregionPAYアプリをスマホにインストールする必要がある。

バスの中では、隣同士で教え合い、なんとか会員登録までたどりついた。バスの中は大忙し。休憩後に開校式、やっと落ち着いた雰囲気となる。

11時20分頃宿に到着、ここでも一人一人に証明書のチェックを受け、サインをする。その後QRコード付きの紙クーポンが配られ、アプリにて読み取りチャージ完了。

ようやく支度をしてゲレンデへ。雪がちらついているがコンディションはよさそう。チケット売り場へ、ここで電子クーポンを使いチケットゲット。何とか全員が成功した。ホッとする。

各班に分かれてスキー教室、皆さん雪の感触を味わいながら何本も滑る。

2日目開始。午前中は曇りながら徐々に回復青空も見えて、日光白根もきれいに見える。ゲレンデも荒れてなく滑りやすい。各班存分に滑る。夕食後に班別ミーティング、活発な技術論議が交わされた。その後有志が飲み部屋に集まり遅くまで語り合った。

3日目、朝から青空の絶好のコンディション。今回の特別企画でコブレッスン並びにカービングレッスン受講者の希望を取り、自由滑走組とで班構成を変えて開始。コブは横滑りの練習から、西山の違う2本のコブゲレンデを滑る。スイスイとはいかないが何とか全員滑り降りる。

カービング班も緩斜面で基礎練習。成果は如何に、次回が楽しみである。

今回は天気にも恵まれ、雪質も粉雪で絶好のコンディションで、かつ電子アプリ決算も経験した良いまつりでした。



杉田屋お披露目会第2弾 2月18日・19日

スノーブリーズSC 杉田 厚

2月18日～19日は杉田屋お披露目会第2弾。



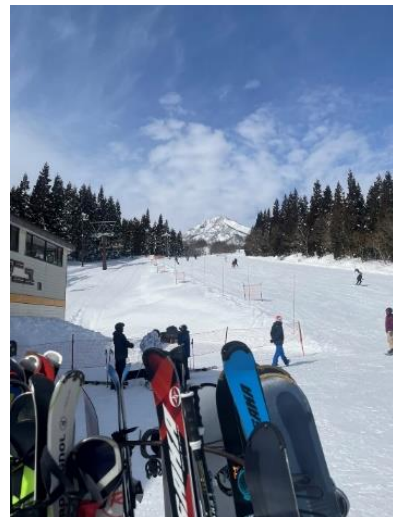
といってもメンバーは2回目のなっちゃん、井田っち、洋子ちゃんに加え、初参加のねこさんの4人。

17日(金)の23時30分から2時頃に杉田屋に到着。

無事に到着したこと、スキーを楽しむことを祈念して乾杯。

翌日は朝7時に朝食。出発はまったりしていて9時30分。妙高高原 赤倉温泉スキー場到着が10時15分頃。

妙高高原 赤倉温泉スキー場にたどり着くまでに駐車場案内係のタバコ吸いのおじさん、チケット売り場のおばさんの非歓迎ぶりに呆れ、やや無然とした面持ちでリフトにのってみると、“私にぴったり”となだらかで広々とした斜面にご満悦の洋子ちゃん。



14のリフトと17のコースがある雄大なスキー場。1日かけて14コースを制覇しました～。

お昼のヨーデルロッジの食券売りのおばさんの態度にもカチンときたけど、そこは大人の対応でおいしいかつ丼（こちらはかつ丼という「たれカツ丼」のことを言うらしい）を賞味しました。

夜は居酒屋“海鮮ろばた 船栄 高田店”に繰り出して新潟の酒3種、メ張鶴・かたふね・山間を堪能してきました。

イカの刺身旨かった～。

唐揚げにしてくれた足も耳も最高！

栃尾の油揚げも、里芋も、あといろいろ食べたけどどれもおいしかった、まさに新潟の味覚！！（酔っぱらって覚えていない）

翌日はあいにくの雨。それもザーザー降り。

仕方なくコタツでうだうだしたり、掃除をしたりして過ごしお昼を食べに“ハンバーグが食べた～い”と叫んでいた洋子ちゃんの希望通り“スノーマン”へ。

うまかった～。



ドルフィン3月スキー行

横須賀スノードルフィンSC 古屋 仁

3月4日の草木も眠る丑三つ時

周りの住民に気づかれないように南区の中村橋付近で1人を拾った後に、蓼科高原ピラタスの丘ペンション村の“ペンション モルケンロート”をめざして車を動かした。

途中の双葉SAでもう1台の車と合流。総勢8名となった。

今回の宿“ペンション モルケンロート”は、41年前にモルケンロートSCの会員である谷澤夫婦が脱サラして開いたペンション。旦那さんはピラタス蓼科スノーリゾートのスキースクールでインストラクターもしていた。末尾にあるURLは、“ペンション モルケンロート”のホームページ。

犬と一緒に泊まれる宿として賑わい、犬を飼っている人や犬好きの人は、ぜひ利用して欲しいものです。

ドルフィンは、開所当時から定宿として利用していて、四季折々に泊まっている。私も、家族で泊まった。

ゲレンデまでは徒歩約5分(裏の急坂を登って行くと)、車だと約10分(結構な遠回り)。

ゲレンデは、リフト2本とロープウェイの小規模ではあるが、ロープウェイの山頂駅から山麓駅までは2.5km今日のダウンヒル。長さといい、斜度といい、とても楽しめる。

宿の自慢は食事。夕食は洋食のコース料理。慣れないナイフとフォークでの食事は、子供のテーブルマナーの勉強にも活用できそう！朝食もちろんナイフとフォーク。

そういえば、41年前の“ペンション モルケンロート”の開所当初に泊まった時に、当時のスキー協事務局長が「箸は無いのか。みそ汁は無いのか。」と言って、谷澤夫婦を困らせていたっけ？(当時の事務局長も古越事務局長。現事務局長のお父さんですが・・・！)

ともあれ、2日間とも天気に恵まれ晴天。

山頂駅の展望台からは、遠く富士山や南アルプス・中央アルプス・北アルプスが一望でき、今シーズン最後のスキーをしめくった。

※参考：ペットと泊まれるペンション モルゲンロート | 蓼科高原ピラタスの丘
(<https://p-morgenrot.com/>)



2022～23シーズン 各クラブ行事予定

ク ラ ブ	行事名称	日 程	会場(スキー場)
スノーブリーズ	かぐら田代スキー	4 月 15 日～16 日	かぐらスキー場
スノーブリーズ	ぽかぽかキャンプ	5 月 3 日～ 5 日	野沢温泉スキー場
D S S C	クラブ春スキー	G W	志賀高原スキー場？

※各スキー行事に変更が生じた場合は、変更箇所をスキー協(mail@kanagawaski.org)へメールにて報告をお願いします。



スキー祭典では現地で新聞を発行しています！

◆ 編集後記 ◆

二月十一日・十二日に、戸狩温泉スキー場で開催された県行事の奥信濃アルペン競技会に参加しました。

県スキー協のクラブ員ならどなたでも、参加できる協議会です。

今回は私の小学生の息子と一緒に参加し、2日間でSL/GSそれぞれを大人も子供の同じセッティングで滑りました。

息子が私を上回るタイムで滑っていたので、息子の成長を感じる
ことができました。

競技会では、タイム競技ならではの競争する楽しさや、技術の差がタイムとしてはつきりと現れることで自分の至らない点など、いろいろな気づきを感じることができました。

普段競技をしない人でも、ぜひ遊び感覚で来年は参加してみてください。

次回の競技会では、よりたくさんの方に参加していただけることを願っています！（い）

(い)